御嶽大神

御嶽信仰の祭神である大己貴命・国常立命・少名彦命の神像。御嶽信仰とは、木曽御嶽山を中心とする山岳信仰である。江戸時代中期頃になり、尾張の覚明・江戸の普寛両行者によって全国的に御嶽信仰が普及した。しかし、御嶽信仰ははるか上代にさかのぼるともいわれています。